

おたがいさまニュース

第12号 2016.3.23
発行：南医療生協
おたがいさま運動推進委員会
地域ささえあいセンター
052-625-0650 (Fax0653)

1067

のおたがいさま
サポーターが活躍しています

- ・組合員さん他 488 名他 18 名
- ・職員 561 名

☆おたがいさま シート数 495 件
シート 内2015年度 189件



おたがいさまシート

～シートの集計状況～

年齢分類

- ・後期高齢者 75歳～89歳：248枚
- 90歳以上高齢者：21枚 合計 54%
- 60～74歳 101枚
- ・0～14歳：4枚 15～29歳：4枚
- 30～44歳：9枚 45～59歳：18枚
- *高齢者が72.3%をしめています

困りごとの分類

- くらしの不安：231枚 46.7%
- 趣味：43枚 情報提供：40枚
- 受診・治療：49枚
- 身辺改善：94枚（掃除など）18.9%

★ほとんどが高齢者の方々のくらしの不安と身辺改善の支援です。ちょっとした困りごとから深刻な困りごとまで。でも足が悪い・車がない（運転をやめた）などの理由で、高齢の方にとっては「本当に困ってみえる」のです。それを組合員さんが自主的に支援されている報告が多いことがわかります。

おたがいさま事例

囲碁普及指導員の資格をとられた矢先に入院されたIさん

～7B病棟での「ボランティア」～

- ★Iさんは、定年退職され、「囲碁普及指導員」という資格をとられました。
- ・10月のある日、加入増資コーナーにご夫婦で立ち寄り、ちょうど、地元の大高ブロックの組合員さんに、「生協でボランティアをしたい」と申し出られました。

奥様には、健康の友を配るボランティアである「世話人」さんにご協力いただき、ご主人には「囲碁のボランティアがあればお願いします」とお伝えしました。

よって横丁の小規模多機能から「囲碁」のボランティアの要請がありましたが、丁度入院されてしまいました。でも体調が整われ、「個室に横丁の方がこられるならボランティアできます。」とご連絡いただきました。（横丁の体制がなく実現しませんでした）

そして、今度はIさんからの「囲碁のお相手がほしい」とのシートが7Bから出され、名南の男塾の方がお部屋に伺い1時間半ほど囲碁に興じられ、囲碁の指導を受けられました。

がんの終末期であっても人の役に
たちたい、たたれているIさんの生き様です。



3月のおたがいさまシート

あ・れ・こ・れ

高齢者

- ・オール電化の家の中で電気がつかずに寒さに震えていた90歳の高齢者のお宅からのSOS
- 男塾の代表が中電に電話し、ブレーカーを操作して無事回復
- 契約アンペアをあげることを助言した
- ・冷蔵庫をもらったが、自宅まで運べない
- ほしざきボランティアの会で対応
- ・高いところを掃除する道具がほしい
- 東海市のIさんがカインズで購入してお届け。